

010502金属製家具製造業における死亡災害事例（1999-2022年）

年	月	発 生 時	死亡災害事例	起因物 (小)	事 故 の 型	労 働 者 規 模
2022	6	8 ～ 10	被災者は、事業場敷地内で、刈払機を用いて草刈り作業を行っていたところ、高さ3.25メートルの擁壁から、何らかの理由により転落し、頸髄損傷により死亡した。被災者は用水路で発見された。被災者はヘルメットを着用していなかった。	418	1	50 ～ 99
2022	9	16 ～ 18	工場内において、昇降装置の油圧ホースの交換作業中、下降してきた当該装置に挟まれ、入院加療していたが、死亡した。	229	7	100 ～ 299
2011	9	12 ～ 13	工場の屋根の修理のために屋根に登っていた被災者が、スレートを踏み抜いて4.7メートルの高さから工場のコンクリート床に転落した。	415	1	10 ～ 29
2006	11	16 ～ 17	被災者は工場で、帯状の鉄板をロール状に巻いた金属材料（直径121センチ重量710キログラム）を天井クレーンにて移動しようとしていた。立てかけられた材料の2個に玉掛けをしようとした材料の間に入ったところ、荷が倒れ金属材料の間に挟まれた。	521	7	1～ 9
2006	11	15 ～ 16	被災者は、休憩時間にビル2階の作業場からビル1階に降りて行く途中に階段を踏み外し、転倒した。	413	1	10 ～ 29

https://www.jisha.or.jp/international/topics/202311_01.htmlに戻る。